

車いすの乗車、困難極める

取締役会で改善を要請／町長



さかもと あや 議員

「①、土佐くろしお鉄道も含むJR四国の特急全車両に自由席側の2人掛席1つ分のみまわらないので、車いすで安心していられるスペースを作ってください。

②、実際の車いすスペース設置までの間、物理的に自由席車両への入室ができない間、もしくは上記の請願が聞き届けられない場合、自由席の料金で出入りが可能なグリーン車両へ入れていただくことなど、ある程度の優遇措置をお願いしたい。

③、特急列車の停車駅は無人であってもすべてバリアフリー化をお願いします。」

以上の要望とあわせて、車いすのスペースのある列車の表示や運行時間の明記など安全かつスムーズに利用出来る環境を整備することを町長は申し入れすべきと思う。

問 町長が役員となっているくろしお鉄道とJR四国に特急列車を車椅子で利用している方から署名が提出された。署名提出の際には、私も同行させてもらったが、真夏の暑い時にクーラーも効かないデッキにいるしかない現状や、近くの乗車駅がバリアフリーでないため、進行方向とは反対の中村駅までいかなければ乗車できない現状など困難を極める訴えを聞いた。

要望内容は以下

答

大西町長

くろしお鉄道、JRのバリアフリー化は11月25日にくろしお鉄道中村駅駅長あてに提出された。署名を集めた1人として当日同行すべきところ公務出張のため同行することができなかったが、前日11月24日第111回土佐くろしお鉄道取締役会にて、請願内容をあらかじめ提案した。

佐賀駅のバリアフリー化は、第110回取締役会で提案している。車両のバリアフリー化の代替策、出入り可能なグリーン車での優遇措置等についても改めて提案協議させていた

福祉タクシー

19年以降
検討したか

地域福祉計画と
合わせて検討／町長

問

事業費や地域の状況に合わせた2パターンの福祉タクシーの必要が出てきた。福祉サービスとの抱き合わせや、複数の事業の組み合わせで具体的に進めるべき時期ではないか。

答

大西町長

矢野健康福祉課長

1つの事業に、多目機能を設定したいといった方向は執行部も同じ。制度上の問題の協議が必要と思う。

移動手段の確保が、公共交通だけで維持できるのか、あるいは反民間の移動手段が早期実施できないか等、公共交通の協議会の中で地域福祉計画と合わせて協議していく。



くろしお鉄道土佐佐賀駅バリアフリー化を